

第4次南砺市子ども読書活動推進計画
(令和4年度～8年度)
進捗状況について

(令和6年度事業)

令和7年6月
南砺市立中央図書館

I 第4次南砺市子ども読書活動推進計画進捗状況について

1 趣旨

子どもの「読書離れ」が指摘されていた中で、国は平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を公布・施行した。南砺市においても平成24年3月に「南砺市子ども読書計画（第2次）」、平成29年3月に「南砺市子ども読書活動推進計画（第3次）」、令和4年3月には「第4次南砺市子ども読書活動推進計画」（実施期間は令和4年度から令和8年度までの5年間）を策定した。ここに令和7年3月31日現在の第4次計画の進捗状況を報告する。

2 点検・評価の対象

令和6年度事業の「第4次南砺市子ども読書活動推進計画」の進捗状況について

3 点検・評価の方法

（1）自己点検評価

「第4次南砺市子ども読書活動推進計画」での活動状況及び事務事業の執行状況について点検・評価を行う。

（2）図書館協議会への報告及び公表

点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを図書館協議会に提出するとともに、南砺市ホームページへの掲載により、公表する。

第4次南砺市子ども読書活動推進計画体系（令和4年度～8年度）

基本方針

- （１）子どもの発達段階に応じた読書活動の推進
- （２）家庭・地域、図書館・学校等を通じた社会全体での取り組みの推進

具体的な方策

基本施策

担当課

(1)子どもの発達
段階に応じた読書
活動の推進

- ア 乳幼児期（０歳～６歳まで）における読書活動の推進
- イ 小中学生期（６歳～１２歳まで）における読書活動の推進
- ウ 中学生期（１２歳～１５歳まで）における読書活動の推進
- エ 高校生期（１５歳～１８歳まで）における読書活動の推進

中央図書館
中央図書館
中央図書館
中央図書館

(2)-①
家庭・地域におけ
る
子どもの読書活動
の推進

- ア 家庭における読書活動の推進
- イ 保育園・認定こども園における読書活動の推進
- ウ 児童館・子育て支援センターにおける読書活動の推進
- エ 保健センターにおける読書活動の推進
- オ 交流センターにおける読書活動の推進

中央図書館
中央図書館
こども課
保健センター
中央図書館

(2)-②
市立図書館におけ
る
子どもの読書活動
の推進

- ア 読書環境の整備
- イ 図書資料の充実
- ウ 読み聞かせやおはなし会等の開催
- エ 司書の配置と職員の資質向上
- オ 啓発広報
- カ 図書館ネットワークの強化

中央図書館
中央図書館
中央図書館
中央図書館
中央図書館
中央図書館

(2)-③
学校における
子どもの読書活
動の推進

- ア 司書教諭の配置
- イ 学校図書館担当職員の配置
- ウ 学校図書館資料の充実
- エ 学校図書館の蔵書管理システム化
- オ 学校における読書指導の充実
- カ 関係機関との連携

教育総務課
教育総務課
教育総務課
教育総務課
教育総務課
教育総務課

(2)-④
社会全体に
おける子どもの読書
活動の推進

- ア 地域ボランティアの協力
- イ 地域の連携・協力

中央図書館
中央図書館

Ⅱ 令和6年度事業 計画の体系と評価

(1) 子どもの発達段階に応じた読書活動の推進

I 計画の体系

基本施策	ア 乳幼児期における読書活動の推進 イ 小学生期における読書活動の推進 ウ 中学生期における読書活動の推進 エ 高校生期における読書活動の推進	担当課	中央図書館
主な取組	①ブックスタート事業の開始に向けて検討。 ②学校図書館と市立図書館の資料の充実を図る。 ③南砺市型学校司書モデル事業を通じて、学校図書館担当職員（学校司書）と市立図書館司書の資質向上を図り、図書館利用を促す。 ④高等学校と市立図書館が連携したイベントの開催。		

Ⅱ 現状の取り組みと内容

項 目	目標値 (R08)	(R04)	(R05)	実績値 (R06)	(R07)	(R08)	達成度
①なんと！ バースデー ブック事業 (R5年度～)	1.00		0.75	0.89			0.89
	申請者数/ 該当数		171人/227 人中	166人/186 人中			
④高等学校と 市立図書館の 連携イベント	2回	1回	3回	2回			1.00
内 容							
①申請率を高める取り組みとして、「なんと！バースデーブック事業」の申請方法として、電子申請を開始した。 ④福野図書館と南砺福野高等学校が連携して、利用体験や保育園への読み聞かせ講習会及び高校生による読み聞かせを保育園で実施した。また、南砺平高等学校では小学生への読み聞かせ実施のための授業を継続して実施した。							

Ⅲ 評価と改善点

①「なんと！バースデーブック事業」での選書絵本を検討する。
④市内の2高等学校で市立図書館と連携し、子ども向け(児童向け)のイベントを実施する。

(2) ー① 家庭・地域における子どもの読書活動の推進

I 計画の体系

基本施策	ア 家庭における読書活動の推進	担当課	中央図書館
主な取組	①「あかちゃんに絵本を」を更新し配布。保護者による読み聞かせを推進する。 ②子どもたちが図書に関する情報をいつでもどこでも気軽に調べることができるよう、図書館ホームページの子ども向けページの充実と活用を促進する。 ③図書館では、親子で一緒に楽しむことができるイベントの充実と、ホームページや広報誌などでの情報発信の充実に努める。		

Ⅱ 現状の取り組みと内容

項 目	目標値 (R08)	(R04)	(R05)	実績値 (R06)	(R07)	(R08)	達成度
①図書館共通利用 カード配布人数 (小学校入学前)	236人	193人	294人	293人			1.24
③絵本ライブ 参加者	300人	214人	211人	164人			0.55
内 容							
①令和5年度からの新システム導入に伴い、毎年、小学新1年生全員に「図書館共通利用カード」をプレゼントしている。 ③県内唯一、南砺市立図書館でしか実施していない特別なおはなし会「絵本ライブ」を毎年実施している。親子で一緒に楽しむことができるイベントとして好評である。							

Ⅲ 評価と改善点

③図書館まつりのイベントである「絵本ライブ」は、引き続き市立図書館職員が協力し、イベントを充実させる。

I 計画の体系

基本施策	イ 保育園・認定こども園における読書活動の推進	担当課	中央図書館
主な取組	①読み聞かせ技術の向上や子どもの読書活動に関する情報を得られるよう、保育士や幼稚園教諭の研修機会を設ける。 ②図書館と連携を強め、発達段階に応じた図書の選定に努める。 ③地域のボランティアグループと連携し、親子に読み聞かせを行うなど絵本の楽しさを伝える。 ④「なんとみらい文庫（団体貸出）」を活用して絵本や子育て本を貸し出すなど、家庭での読書のきっかけづくりに努める。 ⑤園内に設置されたなんとみらい文庫で、子どもが絵本を身近に感じ、家族で市立図書館の来館のきっかけづくりとなるよう促す。		

Ⅱ 現状の取り組みと内容

項 目	目標値 (R08)	(R04)	(R05)	実績値 (R06)	(R07)	(R08)	達成度
出前おはなし会 の参加者	1,100人	514人	536人	540人			0.49
図書館招待・ 探検（人数）	33人	0人	23人	28人			0.70
内 容							
④認定こども園や保育園と連携し、図書館からの絵本貸し出しサービス「なんとみらい文庫」を継続している。貸出しは順調である。子どもの読書習慣の基礎は家庭にあり、読書のきっかけづくりに貢献している。							

Ⅲ 評価と改善点

出前おはなし会や、図書館招待がすべての地域で実施されておらず、実施に向けて検討する。
--

項 目	目標値 (R08)	(R04)	(R05)	実績値 (R06)	(R07)	(R08)	達成度
①「あかちゃんに絵本を」の配布数	100部	44部	40部	139部			1.39
内 容							
①リーフレット「あかちゃんに絵本を」を定期健診で配布し、乳幼児期に絵本とふれあう大切さを伝えてきた。乳幼児健診時に保健師が保護者へ、絵本は話しことばの発達を促すきっかけとして効果的である。絵本を選ぶポイントや子どもの興味関心に沿った読み聞かせ方を個別に助言している。また、会場には絵本コーナーを設置しており、待ち時間に親子が自由に手に取り読む姿が見受けられる。							

①今後の取り組みとして、保健センターへの団体貸出を通じて、本との出会いや読み聞かせの大切さ、「なんと!バースデブックス」を周知し、子育ての悩みが和らぐ取り組みを行う。

基本施策	オ 交流センターにおける読書活動の推進	担当課	中央図書館
主な取組	①図書館と連携し、引き続き「子育てミニ文庫」の充実・利用促進を図る。 ②交流センター行事等を利用して、地域の子どもに家庭での読書の大切さを啓発するよう努める。		

[illegible]

効果は現れている。

①読み聞かせの絵本や子育て支援につなげる絵本を充実させるため、「子育てミニ文庫」の選書について、図書館と連携をさらに図る。

②今後も交流センターと連携して、夏・冬休みの移動図書館の内容を更に充実させる。

3 持続可能な
発展のための
健康と福祉

4 質の高い教育を
みんなに

8 働きがいと
経済成長

10 人や国の不平等を
なくす

11 住み続けられる
まちづくりを

16 平和と正義を
すすめる

17 パートナリティーを
強めよう

基本施策	ア 読書環境の整備	担当課	中央図書館
主な取組	①子どもの読書に関する現状やニーズを知り、館内の配置や掲示などを工夫して、より利用しやすい環境を整備する。 ②関係施設と連携して、子どもと本の出会いの場を提供する。 ③誰もが本に親しみ、情報を得ることができるように、利用しやすい施設、郵送サービスなどの環境を整える。		

項 目		目標値 (R08)	(R04)	(R05)	実績値 (R06)	(R07)	(R08)	達成度
①子どもの本の展示	中央	12回	12回	12回	12回			1.00
	城端	12回	12回	12回	12回			1.00
	平	12回	12回	12回	12回			1.00
	井波	12回	12回	12回	12回			1.00
	福野	12回	12回	12回	12回			1.00
③郵送貸出しサービス		1回	0回	0回	0回			0.00
内 容								
①子どもたちは、いつもくつろいだ雰囲気の中で本を選び、読んでいる。保護者が子どもに本を読み聞かせしたり、選んだりして、本を通した家族のふれあいの場になっている。								

Ⅲ 評価と改善点

施策の効果は現れている。

①子どもと本の出会いの場を提供し、さらに利用しやすい施設になるよう環境を整える。

③今後も、ホームページや館内掲出通じて、郵送貸出しサービスの周知を図る。

I 計画の体系

基本施策	イ 図書資料の充実	担当課	中央図書館
主な取組	①図書購入費を確保し、新刊の他、利用の多い図書を複数所蔵することで関係施設への団体貸出に備える。 ②永く読み継がれ劣化の著しい資料は買い換え、幅広く充実した蔵書構築に努める。		

Ⅱ 現状の取り組みと内容

○蔵書と児童書の推移

項 目	目標値 (R08)	(R04)	(R05)	実績値 (R06)	(R07)	(R08)	達成度
市立図書館蔵書数	502,861冊	503,209冊	500,652冊	500,921冊			0.99
うち児童書	125,000冊	110,674冊	110,983冊	112,451冊			0.90
児童書／蔵書数	22.20%	22.00%	22.17%	22.45%			1.01

○一人当たり図書貸出冊数

項 目	目標値 (R08)	(R04)	(R05)	実績値 (R06)	(R07)	(R08)	達成度
入館者数	255,090人	202,370人	197,118人	181,413人			0.71
貸出冊数	327,038冊	248,302冊	230,989冊	249,708冊			0.76
うち児童書	114,463冊	74,868冊	70,958冊	71,238冊			0.62
南砺市人口	45,422人	47,413人	46,585人	45,706人			1.00
冊／人	7.2冊	5.2冊	5.0冊	5.5冊			0.76

○市立図書館利用率

項 目	目標値 (R08)			実績値 (R06)			達成度
	年齢別 人口A	実利用 者数B	利用率 B／A	年齢別 人口A	実利用 者数B	利用率 B／A	
幼児(～5歳)	1,484	178	12	1,590	134	8.4	0.70
小学生 (6～11歳)	1,833	1,283	70	1,952	1,599	81.9	1.17
中学生 (12～14歳)	1,048	419	40	1,059	417	39.3	0.98
南砺市人口	45,422			45,706			1

※入館者数・貸出冊数等の数値目標は、『南砺市立図書館アクションプログラム』(H29.3発行)より抜粋

※実利用者数

- ・図書館に来館し図書資料を借りた実人数であり、団体貸出数の数は含まない。
- ・年度内に1回以上利用した実数であり、2回利用しても実利用者は1人とカウントする。

Ⅲ 評価と改善点

①各館の所蔵収納能力冊数の関係から、定期的に本の除籍行っている。図書購入費を確保し、資料の充実を図る。図書館のない地域の子どもたちへも「なんとみらい文庫」や「なんと！ぐるっと巡回本サービス事業」を通じて本の利用を促進する。継続して、永く読み継がれ劣化が著しい資料の除籍や買い換え等を実施する。

Ⅰ 計画の体系

基本施策	ウ 読み聞かせおはなし会等の開催	担当課	中央図書館
主な取組	①学校、保育園等の要望を聞いてニーズの把握に努め、今後もおはなし会やイベントを充実させる。 ②職員やボランティアの資質の向上を図り、イベントの中で本の読み聞かせやブックトークを実施し、子どもたちが本の楽しさを知る機会が増えるよう努める。 ③読み聞かせボランティアグループの研修と支援に努める。		

Ⅱ 現状の取り組みと内容

団 体 名	図書館		認定こども園・保育園		子育て支援センター	
	(R06)		(R06)		(R06)	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
おはなしまんまる	10回	176人			1回	12人
おはなしJ A 夢						
虹の会	12回	93人				
フラットb						
ピッコログループ	12回	97人				
つばきの会	12回	62人	18回	276人		
本でこんにちは	25回	110人				
団 体 名	小学校		児童館・放課後児童クラブ			
	(R06)		(R06)			
	回数	人数	回数	人数		
おはなしまんまる	10回	396人				
おはなしJ A 夢	41回	331人				
虹の会	23回	265人				
フラットb	34回	50人				
ピッコログループ	22回	149人				
つばきの会	33回	175人				
本でこんにちは	14回	1,244人				

Ⅲ 評価と改善点

①定期的におはなし会を実施している。参加人数は昨年に比べ増加している。
 ③今後も、ボランティアグループの研修や育成・支援に努める。

基本施策	エ 司書の配置と職員の資質向上	担当課	中央図書館
主な取組	①担当職員が児童サービスの時間を確保できるよう、業務分担の見直しを行う。 ②日々の業務における職員間の連携を密にし、共通認識をもって、子どもの読書活動を推進する。 ③カウンター職員の丁寧な対応や積極的な声かけで、読書案内・相談など利用しやすい雰囲気づくりに努める。 ④職員の資質向上のため、さまざまな研修に積極的に参加できるよう環境を整える。		

○職員と司書の配置状況（人） ※職員数及び司書数には会計年度任用職員も含む

		中央	城端	平	井波	福野	計
目標値 (R08)	職員数	9	3	2	4	6	25
	うち司書数	6	3	1	4	6	20
実績値 (R06)	職員数	9	4	2	4	6	25
	うち司書数	7	3	0	3	5	18

内 容

①②司書や、資格を有しない職員でも、子どもと本を結ぶための児童書の幅広い知識やコミュニケーション能力を持ち、おはなし会等のイベントを開催している。

③職員の丁寧な対応により、利用しやすい図書館づくりに努めている。

①②すべての職員が、児童サービスの時間を更に確保できるよう、業務分担の見直しを行い、おはなし会等のイベントの充実を図る。
③今後も、職員による丁寧な対応や積極的な声かけをし、利用しやすい雰囲気づくりに努める。

基本施策	才 啓発広報	担当課	中央図書館
主な取組	①図書館のない地域の小学校や中学校への広報活動を、担当する図書館が今後も継続していく。 ②図書館を利用したことのない子どもや保護者が行きたくなるような情報を発信し、読み聞かせや読書の大切さを啓発する。 ③わかりやすい展示や資料案内を工夫し、ホームページの内容も充実させる。		

[illegible]

Ⅲ 評価と改善点

①②③今後も図書館へ行きたくなるよう、テレビ、広報誌やホームページ、なんとHug等で更に情報を発信し、読み聞かせや読書の大切さを啓発する。



I 計画の体系

基本施策	力 図書館ネットワークの強化	担当課	中央図書館
主な取組	①司書教諭や学校図書館担当職員と連携し、各担任が学校図書館を通じて図書館を利用しやすい体制を作る。 ②小学校の朝読書や長休みを利用して、読み聞かせを実施することで、子どもたちに本の魅力を知ってもらい、図書館利用や読書につなげる。 ③子育て支援センターなどと連携し、出前おはなし会の実施や、乳幼児・子育て関連図書の貸出の充実を図る。 ④小学校や中学校の実態にあった、団体貸出や移動図書館サービスの提供に努める。 ⑤図書館と学校との連携会議を定期的に行い、情報共有に努める。		

Ⅱ 現状の取り組みと内容

項 目	目標値 (R08)	(R04)	(R05)	実績値 (R06)	(R07)	(R08)	達成度
②読み聞かせ	小学校	11回	15回	14回			1.27
④団体貸出	小学校	5,000冊	4,433冊	5,196冊	5,688冊		1.14
④YAみらい文庫	中学校	2,100冊	1,380冊	1,212冊	1,795冊		0.85
内 容							
④各学校へは、授業に必要な資料を団体貸出、個人へは1人1台タブレット端末を利用して本の予約を行い貸出しを行い、児童生徒たちに本の魅力を知ってもらい、図書館利用や読書習慣を身につけている。							

Ⅲ 評価と改善点

施策の効果は現れている。
 ⑤今後も、学校図書館と市立図書館とのオンライン会議を毎月開催し（長期休業月を除く）、情報共有に努める。

(2) -③ 学校における子どもの読書活動の推進



I 計画の体系

基本施策	ア 司書教諭の配置	担当課	教育総務課
主な取組	①司書教諭が、市が配置する学校図書館担当職員（学校司書）と連携しながら、子どもの読書活動推進への取組みができるよう、情報交換や研究会、研修等への参加を推進し、資質向上を図る。		

Ⅱ 現状の取り組みと内容

○司書教諭の配置状況					
		学校総数	12学級以上の学校数	司書教諭を配置している学校数	
				12学級以上	11学級以下
目標値 (R08)	小学校	7	4	4	0
	中学校	6	0	0	3
	義務教育学校	2	0	0	0
実績値 (R06)	小学校	7	4	4	2
	中学校	6	0	0	6
	義務教育学校	2	0	0	1
内 容					
①12学級以上の学校及び義務化されていない11学級以下の学校13校に司書教諭が配置されている。また、学校司書は15校全ての学校に配置されている。					

Ⅲ 評価と改善点

①司書教諭や、学校図書館担当職員（学校司書）と図書館と連携を図り、情報交換や研修等への参加を促し、資質向上を図っていく。
--

I 計画の体系

基本施策	イ 学校図書館担当職員の配置	担当課	教育総務課
主な取組	①学校図書館担当職員の情報交換や研修等への参加機会を増やし、資質向上を図る。また、図書の管理だけでなく、読書の啓発活動にも取り組めるよう努める。		

Ⅱ 現状の取り組みと内容

項 目	目標値 (R08)	(R04)	(R05)	実績値 (R06)	(R07)	(R08)	達成度
①学校司書研修参加人数	11人	10人	11人	52人			4.73
①オリエンテーションの実施	15校	16校	16校	15校			1.00
内 容							
①効果的な学校図書館運営の情報が得ることができ、職員の資質向上に役立っている。							

Ⅲ 評価と改善点

①順調に推移している。 図書館との連携事業「学校司書モデル事業」を継続して実施し、情報を共有や、市立図書館の資料を有効活用し、学校図書館の充実を図る。
--

I 計画の体系

基本施策	ウ 学校図書館資料の充実	担当課	教育総務課
主な取組	①学校図書館図書標準に達していない学校については、引き続き蔵書の整備に努める。 ②図書の購入にあたっては、児童・生徒、教員等の意見を参考に良書とともに必要図書を選定し、紙芝居なども含め子どもたちが幅広いジャンルから本を選び、多くの図書に触れる機会を持てるよう、蔵書の充実に努める。 ③郷土に関する本では、特に子ども向けのものが少ないため、子どもにもわかるような資料づくりに努める。 ④継続的な蔵書の入れ替えを実施し、よい本と出合う機会を増やす。		

II 現状の取り組みと内容

○学校図書館図書標準（※注１）の達成状況		(R07. 3. 31現在)				
		学校総数	25～50% 未満	50～75% 未満	75～100% 未満	達成して いる
目標値 (R08)	小学校	7	0	0	0	7
	中学校	6	0	0	0	6
	義務教育 学校	2	0	0	0	2
実績値 (R06)	小学校	7	0	0	0	7
	中学校	6	0	1	1	4
	義務教育 学校	2	0	0	0	2

○児童・生徒一人当たりの月平均学校図書館貸出冊数		(R07. 3. 31現在)					
項 目	目標値 (R08)	(R04)	(R05)	実績値 (R06)	(R07)	(R08)	達成度
小学校(児童)	8.0冊	2.7冊	3.2冊	3.2冊			0.40
中学校(生徒)	2.0冊	0.5冊	0.6冊	1.0冊			0.50
内 容							
①学校図書館図書標準達成状況について、15校のうち13校で達成している。 児童生徒の１人当たりの月平均学校図書館貸出冊数は、中学校で少し増加した。							

III 評価と改善点

①学校図書館図書標準に基づき目標に達し、順調に推移している。さらに、新システムに伴い導入した読書シールの有効活用や学校でのタブレットを使って読書活動の取り組みを通じて、貸出の増加につなげ、子どもたちが利用できる資料の充実に努める。			
※注1 学校図書館図書標準計算式			
小学校		中学校	
学級数	蔵書冊数(冊)	学級数	蔵書冊数(冊)
1	2,400	1～2	4,800
2	3,000	3～6	4,800+640×(学級数-2)
3～6	3,000+520×(学級数-2)	7～12	7,360+560×(学級数-6)
7～12	5,080+480×(学級数-6)	13～18	10,720+480×(学級数-12)
13～18	7,960+400×(学級数-12)	19～30	13,600+320×(学級数-18)
19～30	10,360+200×(学級数-18)	31～	17,440+160×(学級数-30)
31～	12,760+120×(学級数-30)		

I 計画の体系

基本施策	エ 学校図書館の蔵書管理システム化	担当課	教育総務課
主な取組	①システム化にあたっては、蔵書の登録のための作業時間と経費が必要なので、導入していない学校については、蔵書の充実を優先にし、データベース化とともに、コンピュータ管理化に向け努める。		

II 現状の取り組みと内容

○学校図書館の蔵書管理システム化状況（R07.3.31現在）

		学校数	システム化	データベース化
目標値 (R08)	小学校	7	7	0
	中学校	6	6	0
	義務教育学校	2	2	0
実績値 (R06)	小学校	7	7	0
	中学校	6	6	0
	義務教育学校	2	2	0
内 容				
①R6年度から市内全小・中・義務教育学校に新システムを導入し、すべての学校でコンピュータ管理されている。市立図書館と学校図書館の共通システム化による連携を行っている。				

III 評価と改善点

①市立図書館と学校図書館との共通システム化とネットワーク化を活用し、蔵書の充実を図る。

I 計画の体系

基本施策	オ 学校における読書指導の充実	担当課	教育総務課
主な取組	①読書力や学習情報の収集力を高めるために、引き続き読書環境の改善や工夫を行い、研修を実施するなどして、読書に対する児童・生徒の意識が向上するよう、効果的な指導に努める。 ②「ファミリー読書の日」や「ノーゲームデー」の実施に努める。		

II 現状の取り組みと内容

授業時間以外に（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか

※全国学力・学習状況調査→調査項目がなかったため資料なし

【別資料：南砺市立年齢別実利用者数】

年齢区分	市全体計		
	実利用者数A	年齢別人口B	利用率A/B
～6	134	1,590	8.43%
7～12	1,599	1,952	81.92%
13～15	417	1,059	39.38%
16～18	108	1,169	9.24%
19～22	101	1,523	6.63%
23～30	204	2,679	7.61%
31～40	590	3,590	16.43%
41～50	808	5,539	14.59%
51～60	721	5,835	12.36%
61～	2,235	20,770	10.76%
計	6,917	45,706	15.13%

（付記）

※実利用者数は、図書館に来館し図書資料を借りた実人数であり、団体貸出等の人数は含まない。

※実利用者数とは、年度内に1回以上利用した実数であり、2回以上利用しても、実利用者は1人とカウントする。

※実利用人員に南砺市以外の利用者を含む。

※年齢別人口は、外国人を含む数値である。

※年齢別人口は、各年度末(3月31日)現在の数値である。

内 容
①学校では、児童生徒が読書の習慣を身につけるために、朝の読書活動等を実施している。 ②「ファミリー読書の日」や「ノーゲームデー」を継続して実施している。

Ⅲ 評価と改善点

①②児童生徒が更に読書習慣を身につけるため、なんと！ぐるっと巡回本サービス事業による本の貸出等で、朝読書の推進し読書時間を確保する。学校司書モデル事業を活用し、読書に対する児童生徒の意識が向上するよう、図書館司書が、効果的な指導に努める。

I 計画の体系

基本施策	力 関係機関との連携	担当課	教育総務課
主な取組	①地域に関わらず、市立図書館の団体貸出やレファレンスサービスを受けられるよう、連携していく。 ②学校間についても、情報交換や研修の場を設けるよう努める。		

Ⅱ 現状の取り組みと内容

項 目	目標値 (R08)	(R04)	(R05)	実績値 (R06)	(R07)	(R08)	達成度
①調べ学習による 団体貸出の冊数	750冊	912冊	1,273冊	292冊			0.39
内 容							
①学校司書が、学校でのレファレンスや授業に必要な特定の資料を学校図書館システムから予約し、図書館から団体貸出で貸出をしている。							

Ⅲ 評価と改善点

①学校図書館の資料が不足する場合、共通システム化を利用し、市立図書館から学校図書館へ、団体貸出の利用を促進するようオンライン会議等活用し、情報共有していく。
--

(2)－④社会全体における子どもの読書活動の推進



I 計画の体系

基本施策	ア 地域ボランティアの協力 イ 地域の連携・協力	担当課	中央図書館
主な取組	①研修等の情報を提供し、子どもの読書活動のために必要な知識や技能を有するボランティアの育成に努める。 ②各地域の特性を尊重しながら、地域の実情にあったサービスを展開するため、図書館と関係施設、地域ボランティアとの連携・協力体制の充実に努める。		

II 現状の取り組みと内容

項目(ボランティア団体)		目標値 (R08)	(R04)	(R05)	実績値 (R06)	(R07)	(R08)	達成度
(R07. 3. 31現在)								
福光	おはなしまんまる	11人	11人	11人	11人			1.00
	おはなしJ A 夢	10人	8人	7人	7人			0.70
城端	虹の会	8人	8人	9人	10人			1.25
平	フラット	3人	4人	5人	5人			1.60
井波	ピッコログループ	9人	6人	8人	8人			0.80
	つばきの会	6人	6人	6人	6人			1.00
福野	本でこんにちは	8人	10人	10人	10人			1.25
合計		55人	53人	56人	57人			1.04
内 容								
①②各地域のボランティア団体は、月1回程度、市立図書館でおはなし会や工作等のイベントを実施し、本に親しむ機会を提供している。また、保育園や子育て支援センター、小学校でおはなし会を実施し、社会全体における子どもの読書活動の推進を図っている。								

III 評価と改善点

①②ボランティアの会員数は微増ではあるが、高齢化が進んでおり、社会全体で読書に関する理解を高めるように、今後も研修の機会を設け、子どもの読書活動に必要な知識と技能を有するボランティアの育成、連携・協力体制の充実に努める。
--